

継続的改善のための IR/IE セミナー2023 の開催について（第 2 報）

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

1. はじめに

今回の継続的改善のための IR/IE セミナーは、この数年間の実施形態となっていたオンラインから、対面に戻して開催します。

IE とは Institutional Effectiveness の略で、効果性や有効性を確認し、改善につなげるという学内機能であり、IR など大学の状況を把握したり、評価したりする機能とも密接な関係があります。本セミナーではこれらの機能を活かして、どのように継続的で組織的な改善を行うのか、ということテーマに IR 初心者向けのセッションおよび IR 実務担当者セッションを設ける予定です。

IR 初心者向けのセッションは、昨年 9 月に開催した大学評価・IR 担当者集会 2022 の IR 初級者セッションの続編となりますが、やや IE の要素（エンrollment・マネジメント）に近づけた内容とします。また、IR 実務担当者セッションは、今までと同様に IR の実践事例を提供いただき、参加者全員で質疑応答や討論を行います。

2. 開催団体

以下 2 団体による共同主催とします。

- ・大学評価コンソーシアム
- ・九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター（次世代型大学教育開発拠点）

3. 日時・会場

日時：令和 5 年 3 月 13 日（月）10 時 00 分～16 時 30 分

会場：JR 博多シティ 9F 第 1 会議室および第 3 会議室

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/>

なお、会議室の入り口が分かりにくいところにありますので、下記をご覧ください。

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/access.html>

4. 対象者

- ・大学において、大学評価や IR 等の現状把握、現状分析に関連する業務に携わっている方、あるいはこれまでに携わった経験を有する方、関係機関等に所属される方、関連する民間企業等の方を対象とします。
- ・大学における評価部署、IR 部署や企画部署での勤務経験は問いません。学務系、総務系等のセクションの職員、学部やセンターの教員、技術職員、URA 等の専門職、大学以外の機関所属であっても大学評価や IR や IE 等の現状把握を通じた大学の諸改善に興味をお持ちの方であれば参加いただけます。

5. セッションのご案内

10:00-16:30	R1：IR 初級者セッション2【定員：30 名】 本セッションは、IR 担当者になったばかりの方（従事して概ね1 年未満の大学教職員、これから IR 活動を行っていこうとしている大学教職員等）を対象に、IR の基本、学内各所と良好な関係をもって業務を進めるうえでの課題や注意点等を学んでいただくものです。データの活用といった観点から、前半は内部質保証やエンロールメント・マネジメントをキーワードにした「講義編」を、後半は共通知（各大学で共通的に見られる事象等）を題材とした「演習編（グループワーク）」を<u>対面形式で実施</u>します。 令和4 年9 月開催の大学評価・IR 担当者集会 2022 の R1「IR 初級者セッション」の続編となりますが、当該セッションに参加されていない方でもお申し込みいただけます。 当日のタイムテーブル、申込時の注意点及び事前課題については、別紙 1（5～6 ページ）をご覧ください。 スタッフ： ○大野賢一（鳥取大）、岡部康成（帯広畜産大）、○小湊卓夫（九州大）、田中秀典（宮崎大）、藤井都百（九州大）、藤原宏司（山形大）、末次剛健志（有明高専）、関隆宏（新潟大）、土橋慶章・田中康大（神戸大）、藤原将人（立命館アジア太平洋大）、山本幸一（明治大）
R2 10:00-12:30 最大延長 12:45 R3 13:45-16:15 最大延長 16:30	R2/R3：IR 実務担当者セッション A/B【定員：各 30 名】 セッション A とセッション B で、それぞれ最大 4 つの IR 実践事例を話者が提供するとともに、各事例について、参加者からの質問に原則的に全問回答する質疑応答で掘り下げるセッションです（話を聞きたいだけの方にはあまり向かないかもしれません；中上級者向け）。 <u>午前と午後は別々の受付</u>となりますので、ご注意ください。プログラムは別紙 2（7～8 ページ）をご覧ください。 スタッフ： 浅野茂（山形大）、岩野摩耶（山口大）、上畠洋佑（新潟大）、江端弘樹（福井大）、紺田広明（福岡大）、齋藤渉（東北学院大）、畠田敏行（茨城大）、橋本智也（大阪公立大）

6. 開催までの流れ（予定）

【2 月 1 5 日（水）】参加受付の開始（13 時から）

※九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターが設定する申し込み受付サイトにおいて申し込みを受け付けます。「10.申し込み方法」をご覧ください。

【2 月 2 8 日（火）】参加受付の締切（17 時まで）

【3 月 9 日（木）】資料等のオンライン配布（URL は後日ご案内します）

7. 開催条件

- ・新型コロナウイルス感染症の状況により政府、地方自治体からの会合自粛要請があれば中止となりますので、あらかじめご承知おきください。

8. 感染防止対策

- ・会議室定員の概ね 50%程度で運用します。事前申し込みをされていない方はご参加いただけません。
- ・予防接種、手指消毒、検温、マスク（不織布推奨）着用など感染防止策へのご協力をお願いします。マスクは原則的に外さないでください。他の参加者が不安に感じる行動を取られる方はセミナーの途中でも参加をお断りすることがあります。
- ・当日、セミナーで利用している会議室では飲料の摂取が可能です。また、昼食時間帯は飲食共に可能としますが、黙食にご協力ください。（会場が博多駅ですので、飲食場所は特段ご案内しません。）

9. 留意事項

- ・参加費は、共同主催である大学のご配慮により徴収しませんので、無料となります。
- ・原則的に、紙での資料配付は行わず、オンライン配布となります。事例報告やグループワークにおいて配布可能な資料がありましたら、参加者ご自身で人数分ご持参ください。
- ・撮影・録音は禁止とさせていただきます。ただし、主催者が報告書等作成用に撮影・録音を行う場合がありますので、ご協力ください。
- ・「JR HAKATA CITY」「JHC Convention Wifi」のフリーwifiがあります。安定的な通信が必要な方は、各自でモバイル wifi 等を準備されることをお勧めします。
- ・PC 等の打鍵音などにつきましては、周りの方へのご配慮をお願いします。また、電源は特段、準備しない予定です。

10. 申し込み方法

- ・九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターが設定する申し込み受付サイトにおいて、2月15日（水）13時から受付を開始します。URL は以下の通りです。

R1：IR 初級者セッション 2	https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/250
R2：IR 実務担当者セッション A	https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/251
R3：IR 実務担当者セッション B	申し込みフォーム内で参加セッションを選択してください

- ・申し込み方法の詳細は別紙 3（9～10 ページ）をご覧ください。
- ・なお、今後の各種研修等のご案内などを希望される方は、以下のメーリングリスト（登録費・会費無料）にご登録ください。

大学評価コンソーシアム（会員登録）：大学評価や IR に関する研修

<https://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=member>

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター（拠点 ML 登録）：FD/SD および専門的職員（アドミッション、カリキュラム、IR）に関する研修

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/maillinglist>

11. スタッフ

浅野茂（山形大）、岩野摩耶（山口大）、上畠洋佑（新潟大）、江端弘樹（福井大）、大野賢一（鳥取大）、岡部康成（帯広畜産大）、小湊卓夫（九州大）、紺田広明（福岡大）、齋藤渉（東北学院大）、畠田敏行（茨城大）、末次剛健志（有明高専）、関隆宏（新潟大）、田中秀典（宮崎大）、土橋慶章・田中康大（神戸大）、橋本智也（大阪公立大）、藤井都百（九州大）、藤原宏司（山形大）、藤原将人（立命館アジア太平洋大）、山本幸一（明治大）

12. 過去の関連セミナー開催実績について

・以下の web サイトをご覧ください。

大学評価コンソーシアム

<https://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/index.php?page=activity>

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/prof>

13. 問い合わせ

<申込に対する問い合わせ>

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

<内容に対する問い合わせ>

セミナー運営庶務担当：畠田敏行（茨城大学全学教育機構/情報戦略機構）

acc2022@ml.ibaraki.ac.jp

謝 辞

継続的改善のための IR/IE セミナー2023 の開催にあたり、以下の経費も利用しております。なお、一部スタッフについては、所属校の経費で参加しております。記して謝意を述べさせていただきます。

- ・平成30年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（C）「大学の数量的な「共通知」から分析マインドを涵養する人材育成プラットフォームの開発」（課題番号：18K02706、研究代表者：大野賢一）



別紙1 R1「IR 初級者セッション2」のタイムテーブル、申込時の注意点及び事前課題について

■当日のタイムテーブル

時間	概要	担当
9:30-10:00	受付 午前中（講義編）は座席自由	
10:00-10:05 (5分)	趣旨説明 IR 初級講座の狙いと獲得目標について触れた後、研修の進め方について説明します。	小湊
10:05-10:55 (50分)	講義 1：IR 初級概論 2 概論、内部質保証とエンロールメント・マネジメントと IR の概略について説明します。	小湊
10:55-11:45 (50分)	講義 2：米国における EM 及び内部質保証を支援する IR 事例 EM 及びア krediyetasyon における IE に関し、米国における IR からの支援に関する具体的な事例について報告します。	藤原
11:45-12:50	昼食・休憩・換気	
12:50-13:40 (50分)	講義 3：エンロールメント・マネジメントと IR 実践 入口から出口までのアセスメントや各種データ分析結果の活用事例について報告します。部局 FD での活用以外に、学生支援系での活用事例（成績不振学生関連）についても触れます。	畠田
13:40-14:10 (30分)	演習テーマ（共通知）の概要及びグループワークの説明 グループワークで使用する「共通知」の概略及びグループワークの進め方について説明します。	大野
14:10-14:20	席替え・休憩・換気	
14:20-15:50 (90分)	グループワーク グループワークは計 6 班（1 グループ 5 名程度に分かれ、各グループにファシリテーター 1 名が付きま）で行います。 各班のテーマに沿って、参加者が持ち寄った情報（自大学等の状況）を元に、「4 つの観点」を中心とした議論や対応策の検討等を行います。	小湊、大野、他数名
15:50-16:00	休憩・換気	
16:00-16:25 (25分)	全体共有（各グループの発表） 各グループで主に議論された内容を全体で共有します。各グループの発表時間は 3 分程度とします。	大野
16:25-16:30 (5分)	まとめ 本セッションの振り返りとまとめを行います。	小湊
16:30-16:35	アンケート記入	

■参加申込時

- ・参加者は、申込時に属性情報（名前、所属・職名、参加動機等）を入力してください。
- ・また、現在自身が行っている IR 業務と関連（関心）が高いテーマ（表 1 に示す入試、教務、大学生活、就職・卒業のいずれか）を 1 つ選んでください。

※「入試」については、システム上の都合により「試験」と表示されておりますが、そのままお選びください。

※選択したテーマへの参加者が少ない場合は、別テーマの班に統合しますのでご了承ください。

- ・講義編のみ／演習編（グループワーク）のみの参加はできません。

■参加申込後～セッション当日まで

- ・参加者は、上記で選択したテーマに含まれる「共通的にみられる事象」（2 項目）について、自大学等での取組状況や分析事例等を可能な範囲で収集し、当日持ち寄ってください（学内の情報を全く収集できなくても、1 項目だけしか収集できなくても問題ありません）。
- ・学内の情報を収集する際には、表 2 に示す「4 つの観点」を踏まえて確認してください。
- ・後日、参加者に対して「班分けリスト」を配付します。

表1 共通知りリスト(演習編で使用する題材)

テーマ	共通的に見られる事象
入試	「入試科目の得点」と「初年次 GPA」について、あまり相関はみられない
	「センター試験得点率」と「卒業時 GPA」について、あまり相関は見られない(国立は弱い正の相関、私立は弱い負の相関)
教務	理系において、「初年次(教養)科目の成績」と「高年次(専門)科目の成績」について、一定の正の相関が見られる
	「学部・学科別」と「留年率」について、理工系の学科等によっては、留年率が高くなる傾向が見られる場合がある
大学生活	「在学生向けアンケート(学生生活実態調査)の総合満足度」と「卒業時 GPA」について、在学時の満足度が高い学生は、卒業時 GPA(平均値)が高くなる傾向にある
	「アルバイト時間」と「卒業時 GPA」について、深夜バイトや長時間バイトをしている学生は、GPA が低くなる傾向にある
就職・卒業	「就職先」と「卒業時 GPA」について、就職先の違いによる差は見られない
	「卒業時アンケートの総合満足度」と「卒業時 GPA」について、卒業時の満足度が高い学生は、卒業時 GPA(平均値)が高くなる傾向にある

表2 データ活用から考える IR の業務フローにおける「4つの観点」

①分析する目的(リサーチクエスト)や調査設計(リサーチデザイン)は、どのように決定したのか？
②分析するに当たり、どんなデータを収集したか？
③分析結果(可視化、解析等)について、どのように原因や要因を探ったか(仮説の検証)？
④分析結果は、学内でどのように活用したか(プレゼン、報告書の作成等)？

別紙2 R2「IR 実務担当者セッション A(午前)」の報告内容の詳細

「ディプロマ・サプリメント発行の実践報告：IR が本領を発揮できる好機となるか？」

○ 浅野 茂（山形大）

大学教育を通じて「学生が何を学んだのか」「学生は何ができるようになったのか」を証明する手段の一つとして「ディプロマ・サプリメント」が脚光を浴びようになっている。本報告では、令和3年度から当該証明書を交付するため、山形大学においてIR 担当者がどのように対応しているのかを共有し、今後の活用方策等を参加者と共に討議したい。

「アセスメントプランによる学習成果の把握から教育改善へ—IR 担当者と学部等の現場のアセスメントの実際—」

○ 紺田 広明（福岡大）、佐藤 仁（福岡大）

福岡大学では、今年度からアセスメントプランに基づく学習成果の把握を始めた。学部等の現場の教職員が実施できるように、点検の在り方やデータの見せ方について試行した。そこで見えてきたIR によるデータの活用の現状や課題について報告したい。

「学生調査設計の工夫—オンライン授業とマイナー（副専攻）選択の課題を明らかにするために—」

○ 上畠 洋佑（新潟大学）、○ 長 創一朗（新潟大学）

本報告では学生調査において、改善したい大学の課題を抽出し明らかにするために、従来の設問における問い方を工夫した事例と、調査対象を工夫した事例について報告する。

「IR 組織・担当者の能力と大学執行部の期待の関係：調査結果の概要報告とIR 担当者との意見交換」

○ 橋本 智也（大阪公立大学）、白石 哲也（山形大学）

大学執行部がIR 担当者に期待する能力や、期待と現状の合致の程度とその理由等を明らかにするため、全国の大学にアンケート調査を行った。本発表では、調査結果の概要を報告するとともに、IR 担当者の能力と大学側が求める能力の関係について参加者と意見交換を行いたい。

R3「IR 実務担当者セッション B(午後)」の報告内容の詳細

「研究資源の提供を適切に評価する試み」

○ 井上 雄介（国立国語研究所）

国立国語研究所の言語資源を中心とした研究資源の提供に焦点を当て、機関の研究成果として、文系・理系といった学術分野の範囲を超えて適切に評価する試みを報告する。

「人文社会学系部局を含む学内部局の研究業績評価手法の検討事例 ―英文誌論文評価指標だけに依らない評価手法の検討―」

○ 劉 沙紀（九州大学インスティテューショナル・リサーチ室）

九州大学 IR 室で行った、人文社会学系部局の研究業績も評価し得る、英文誌論文評価指標だけに依らない研究業績評価手法を検討した事例について報告する。評価指標及び可視化方法の検討の過程と、作成した複数指標を用いた部局ごとのレーダーチャートなどを紹介する。

「大学の人的リソースを活かした組織運営のための教員活動評価」

○ 江端 弘樹（福井大）

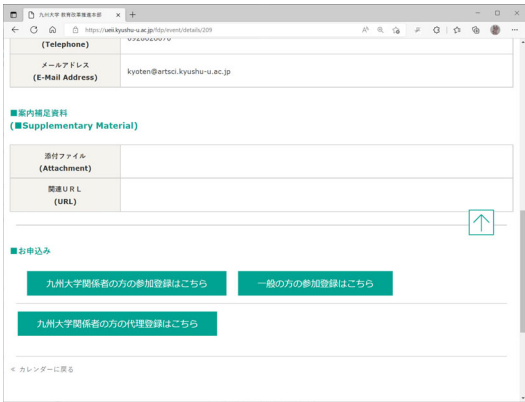
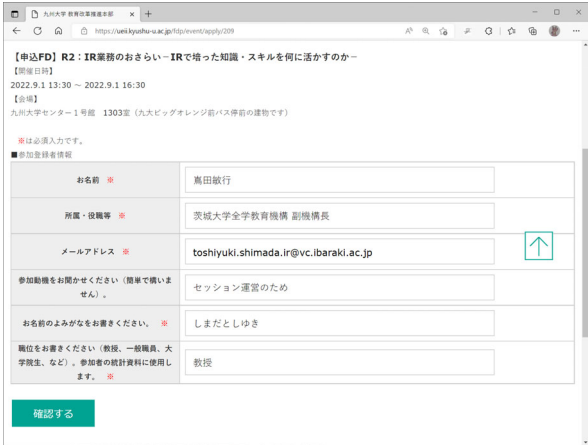
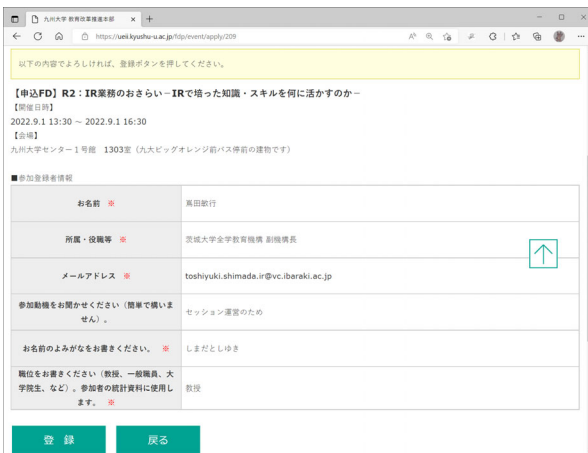
大学ではその限られた人的資源を様々な活動（教育、研究、社会貢献、組織運営、診療など）にいかに関活用できるかが経営上の重要な視点となっている。評価の目的、結果の利用方法を執行部の意向を踏まえて改善し、それを反映した独自の活動評価項目および評価基準を設計、調査、分析し、執行部と共に次年度以降の改善につなげた事例を紹介する。

「会議資料作成における IR の知識・技能の活用について」

○ 畠田 敏行（茨城大）

我が国では、IR 担当者の多くが異動を伴う事務系職員である。IR 業務をどのように今後の業務に活かすか、ということは大学評価・IR 担当者集会などで議論してきたが、ここでは会議資料作成における IR の知識・技能の活用事例として活動設計→収集→分析→活用の4つのフェイズに分けて示し、その有効性について当日、参加者と意見交換したい。

別紙3 申し込み方法の詳細

①	各セッションの申し込み先 URL にお進みください。	
②		九州大学関係者以外の方は「一般の方の参加登録はこちら」をクリックしてください。
③	<入力画面> 	[入力項目] お名前 所属・役職等（大学名等） メールアドレス お名前のよみがな 職位 選択項目（R1/R2・R3 で異なります） 入力が済んだら、「確認する」をクリックしてください。
④	<確認画面> 	内容に問題がなければ、「登録」をクリックしてください。

⑤		この画面に進めば完了です。
⑥	[FDポータル] FD申し込み完了  kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp 宛先: Toshiyuki SHIMADA 2022/07/25 (月) 10:40 高田敏行様 下記 F D の参加登録を受付しましたのでご連絡いたします。 当日はお気を付けてお越しください。 タイトル: R2: IR業務のおさらいーIRで培った知識・スキルを何に活かすのかー 開催日時: 2022.9.1 ~ 2022.9.1 場所: 九州大学センター 1 号館 1303 室 (九大ビッグオレンジ前バス停前の建物です) 大学評価・IR担当者集会2022にお申込みくださいますようお願い申し上げます。プログラム名は上記になります。 同じ時間帯に開催される、『R1: IR初級者セッション』は受講できませんのでご了承ください。 なお、9月2日(金)のプログラムの受講を希望される場合は、お手数ですが、別途お申し込みくださいますようお願い申し上げます。 返信 転送	登録したメールアドレスにこのような確認メールが来ます。(しばらく待っても届かない場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。) kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

- セミナーをキャンセル/ご欠席される場合には、九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター (kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp) までお知らせください。
- なお、グループワークがあるセッションもありますので、前日もしくは当日に欠席が決まった場合には、可能な範囲で 092-802-6070 までご連絡ください。